

平成28年度予算見積調書(12月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 間伐・森林循環担当
 内線: 4321 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B2	美しい森づくり事業			一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	森林整備推進事業費	
事業期間	平成14年度～	根拠法令	森林法193条、森林・林業基本法6条		戦略項目	10	みどりと川の再生		
					分野施策	030202	収益を生み出す林業の振興		
1 事業概要 針葉樹や広葉樹の育成等による多様な森林整備を促進し、森林の持つ水源かん養機能及び二酸化炭素の吸収・貯蔵機能などの公益的機能の増進を図る。また、針葉樹の間伐等により花粉削減対策を推進するとともに、健全な森林を育成する。 (1) 森林循環支援事業 32,729千円 → 42,273千円 (2) 森林整備事業 42,896千円 → 44,018千円 (3) 検査指導費 3,098千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 森林循環支援事業 32,729千円→42,273千円 森林の循環利用と花粉削減対策のため、搬出間伐を実施する。 イ 森林整備事業 42,896千円→44,018千円 植栽、下刈・枝打などの保育の総合的な森林整備を実施する。 ウ 検査指導費 3,098千円 検査指導のための事務費 (2) 事業計画 今後、森林の循環利用を推進するとともに、森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図っていく。 (3) 事業効果 ア 国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の森林の持つ多面的機能の発揮を促進する。 イ 搬出間伐により生産される丸太の販売により、地域経済の活性化が図られる。 ウ 高齢林の伐採・再造林をすることで、森の少子高齢化問題についての意識醸成を図るとともに、高齢林に偏った林齢構成の平準化を図るきっかけとする。 以上による森林整備面積 目標1,100ha(平成23～27年度)→実績1,167ha(平成26年度末) (4) その他 森林保全事業については、検査指導費(事務費)に移行した。 (5) 補正概要 国の第2次補正予算に伴う増額					
2 事業主体及び負担区分 (1) (国 3/10・県 1/10) (2) (国 3/10・県 1/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費 (細目) 森林整備保全費 (細節) 森林整備保全費 (積算内容) 造林関係									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×9.9人=94,050千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	10,666	国庫支出金	8,000					2,666	89,389
現計額	78,723		50,742					27,981	